

福祉

介護認定と介護に関して

川里春治議員(政和) ①認定調査に家族が同席することで、逆の結果になっていないか。

②認定の際、看護師や介護員の意見をとりあげているか。

③本人の状況が変わらないのに、更新のために要介護度が変わるのはいずれか。

市長 ①より正確な調査を行うため同席をお願いしている。同席により要介護度が低く判定されることはないか。

②介護の期間や日ごとの状態等を必要に応じて聴取し、認定調査に反映させている。

③更新ごとに新たに認定調査を行い、本人の心身状態を確認している。全く変化がなければ同じ要介護度に判定される。

精神障がい者の地域での生活を支援するために

平野ひろみ議員(生ネ) ①精神障害者に対する生活支援サービスの現状は。

▲地域生活支援センター あさやけ(小川東町四丁目)



②退院促進事業を今後どのように進めていくのか。

③就労支援の充実に向けて今後の課題は何か。

市長 ①地域生活支援センターあさやけや障害者福祉課で相談を受け、よりよい生活支援のサービス提供に努めている。

②地域生活支援センターと連携をとりながら、市としても退院の実現に努めていく。

③精神障害者に対する企業の理解不足、中途退職、雇用情勢の悪化などが挙げられる。

立花隆一議員(公明) ①4月に認定基準を見直し、10月から基準を修正した原因は。

②見直しにより認定精度が下がることもあるが対策は。

③特記事項を記入する認定調査員への研修や、能力向上のための取り組みは。

市長 ①4月の見直しは最新の介護の手段を反映させることと認定結果のばらつきを是正するために行われたが、利用者からの不安の声を受けて43項目の判断基準を修正した。

②研修を充実して対応したい。

③国・都・市で研修を実施している。

木村まゆみ議員(共産) ①たむ重なる認定基準変更の影響は。

②新規申請者の認定結果を1年前と比較するとどうか。

③非該当と認定された方の、介護予防は十分か。

市長 ①本年4月からの新基準

の認定では、経過措置により必要なサービスの提供は確保されている。10月からの判断基準の修正は、調査員研修を実施するとともに、認定更新者には経過措置の終了を周知した。

②非該当から要介護1までの割合が高くなり、要介護2から要介護5の割合が減った。

③医療機関の受診結果により、状態に合った介護予防事業を案内し、参加してもらっている。

医療と介護の連携について

平野ひろみ議員(生ネ) ①医療と在宅ケアをつなぐ上での地域包括支援センターの役割は。

②在宅医療・在宅ケア事業者の連絡会議を設置できないか。

③在宅緩和ケアのための地域医療連携をどうとらえているか。

市長 ①ケアマネジャー等と連携し、必要な介護サービスや医療サービスが受けられるように調整を行っている。

②現時点で設置の考えはないが連携の必要性は認識している。

③在宅でも適切な緩和ケアの提供ができるように地域の関係機関が連携し、患者やその家族を支えることが重要と考える。

福祉会館等の和室集会所を使いやすくするために

浅倉成樹議員(公明) ①老人会などの会合がある場合、座卓の設置や片づけなどを手伝う人を配備することはできないか。

②座卓のような備品を高齢者にも容易に使いこなせるものに見直すことができないか。

③施設や器具の高齢者標準を設定して利便性を高めることが



和室ホールの座卓(福祉会館)

必要では。

市長 ①現状では考えていないが、利用者の意見を聞き可能な対応に努めたい。

小平市福祉会館のエレベーターについて

滝口幸一議員(フオ) ①なぜ、今の時期に工事するのか。

②階段利用が困難な利用者への配慮は。

③工期の短縮はできないか。

市長 ①開設から37年ほど経過して経年劣化が危惧されるため、安全性を図るとともに、福祉のまちづくりの整備基準に沿うよう対応が求められていた。そのため、閉鎖しない形の工事を検討し、課題の少ない手法を選択して実施に至った。

②工事中の対応等の説明を行い、階段利用の見守りなどを行うための人的配置を整えたい。

③期間短縮に重点を置き可能な限り対応したい。

都市整備

市内の交通網整備の今後について

山岸真知子議員(公明) ①にじバスを鷹の台駅まで延伸する計画の検討状況は。また鷹の台駅以西に延伸する考えは。

②コミュニティタクシーを考

える会が立ち上がっていない地域に対する働きかけは。

市長 ①JA東京むさしや小平商工会等がメンバーであるにじバス協議会で検討したい。鷹の台駅以西へ延伸する考えはない。

②地域から声があれば、地域の取り組み状況を含め説明している。動きがない地域には説明会の実施等を計画する必要もあると考える。

公共交通とまちのデザインについて

日向美砂子議員(生ネ) ①コミュニティタクシーの考え方を未実施地域の市民に伝えることはできないか。

②市全体の交通デザインをどう

ぶるべー号(小平駅入口)



のように考えているか。

③公共交通網を整備するプロセスで把握した市民ニーズをま

ちづくりにどう生かすのか。

市長 ①説明会実施等の必要はあると考える。

②地域特性に合ったコンパクトな公共交通を充実させ、移動しやすい公共交通を整備したい。

③市民、団体等と連携、協働することでさまざまな案が生まれ、町が活性化すると考える。

公共交通の近隣市共同運行事業について

斎藤貴亮議員(フオ) ①コミュニティタクシーの花小金井ルートでの運行実績は。

②市境地域のニーズ調査は行

われているか。

③近隣市との相互乗り入れに

取り組めないか。

市長 ①総合運行日数は延べ180日間、一日平均乗車人数は33人、ルート変更後の一日平均乗車人数は39人、8人、一便平均乗車人数は2人である。

②市境に限定しての調査は行

っていないが、生活行動調査を実施している。

③経費負担や道路整備状況等を考えながら研究したい。

市長 ①試験研究機関として成果が認められており、また正しい知識の普及や貴重な緑の空間を提供している。

②薬事監視等に必要な鑑定、鑑別等は都が行い、植栽地管理、普及啓発業務については委託していると考えている。

③レストランなどに普及させるには専門的な漢方の知識等が必要で、名産とするには農家の生産体制を含め課題が多い。

都立薬用植物園(中島町)

苗村洋子議員(生ネ) ①沖電気グラウンド跡地等の大きな開発で得た教訓は。

②形式的には合法でも、不当なものや地域にそぐわないものは改善を求める対応が必要だと思えるかどうか。

市長 ①地区計画の必要性や土地利用転換に対する住民への周知、周辺地区との持続的な地域コミュニティが形成されるような指導が大切と認識した。

②条例等に適合する開発事業を行うよう事業主を指導するとともに、周辺住民と事業主が互いの立場を尊重し、地域のまちづくりのルールを話し合うよう誘導している。

天神町のマンション等の住宅建設計画の現状と今後について

佐藤 充議員(共産) ①天神町一丁目やNTT花小金井東社宅跡地、同西社宅跡地の現状は。

②土地利用構想の届出に関する指導について、より積極的な実施を求める考えは。

市長 ①天神町一丁目のマンションは基本合意書が締結され、工事中予定は本年12月、工事完了予定は平成23年5月末となっている。NTT花小金井東社宅跡地は手続きが中断しており、工事着手は未定と聞いている。NTT花小金井西社宅跡地については検討中と聞いている。

②周辺住民と事業主の間で工事協定書を締結できるように指導していく。

後も市長会などを通じ都に要望していききたい。

小平のまちを

条例を使って住みよい

小

平

の

ま

ち

を

一

般

質

問